

第82期中間報告書
BUSINESS REPORT

2024年4月1日～2024年9月30日

社長ごあいさつ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、株主の皆様に対処のご理解を一層深めていただくため「第82期中間報告書」を作成いたしました。当社の業績や最近の取り組みなどをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長 **村上太郎**

経営理念

私たちは、社業を通じて
「人の役に立つ」村上開明堂を
目指します。

ビジョン

みえる安心が
あなたをもっとアクティブにする

「みえる安心」で人々の行動はより広がりより自由になれる。
私たちは、「人の役に立つ」の経営理念の下、
見えないことによって生じる生活の中での
不安やためらいをみえる技術で解消し、
すべての人がアクティブに行動できる
社会の実現を目指します。

社是

健康

健全な精神は
健康な体に育まれる。
会社の発展も、
社会への奉仕も、
個人生活の安定もすべて
健康であることから始まる。

信頼

おたがいに信頼し合うことがすべての根本である。
礼儀正しく、相手の立場を理解して
確実な仕事をしよう。
そこから信頼が生まれる。
常に業務の改善と自己啓発を心がけよう。
向上もまた信頼につながる。

親和

仲良く明るい職場を誇りとうしよう。
ルールと秩序を守り、感謝と反省を忘れずに
集団の中で個性を活かす工夫と努力を重ね、
仕事を通して個人の理想をも成しとげよう。

健康

信頼

親和

事業紹介

自動車用製品

村上開明堂の自動車用バックミラーは国内トップシェア。独自の技術開発力と提案力で先進の機能を提供し、自社一貫生産により高いQCD（品質・コスト・納期）を実現。60年以上にわたり自動車の安全・安心・快適に貢献しています。



ドアミラー
+
サイドターンランプ



電子インナーミラー



プロジェクションカーシート
イルミネーション

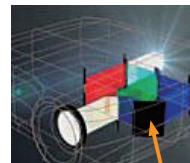
自動車用バックミラーで培った技術を応用し、OA機器・車載機器・映像機器などの多様な分野に光学薄膜製品を提供しています。お客様のニーズに応じて、ガラスや樹脂に光の透過・反射・偏光などの機能を付与する柔軟な開発力が特徴です。

主な オプトロニクス製品

■ 身近に広く活用されるオプトロニクス技術

映像機器

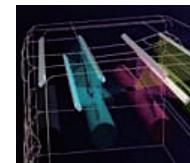
〈製品用途〉 プロジェクター、
デジタルカメラなど



ダイクロイックミラー

OA機器

〈製品用途〉 スキャナー、
プリンタ、複写機など



高反射ミラー

車載機器



ヘッドアップディスプレイ



製品内部レイアウト

★ 当社製品

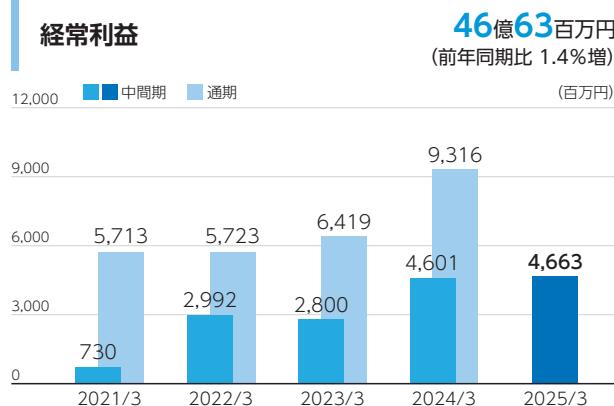
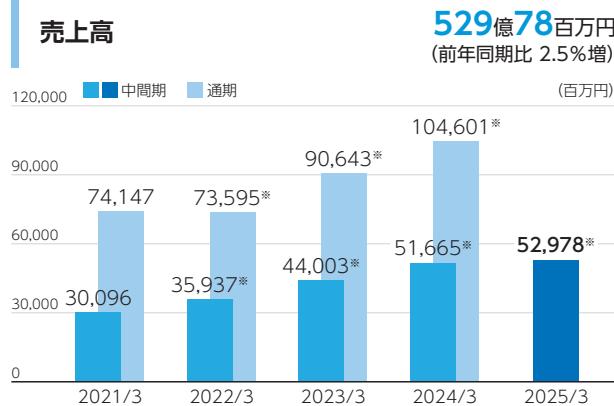
新たな事業への 取り組みの紹介

■ “光るカーブミラー” で事故リスクを低減

信号のない交差点に車や人が近付くと、カーブミラー外周が点滅し、注意と減速を促します（藤枝市内4カ所所で稼働中）。交差点以外にも、建物出入口や工場内でのヒヤリハットや接触を減らし、地域の安全・安心に貢献したいと考えます。



※収益認識に関する会計基準等を通期



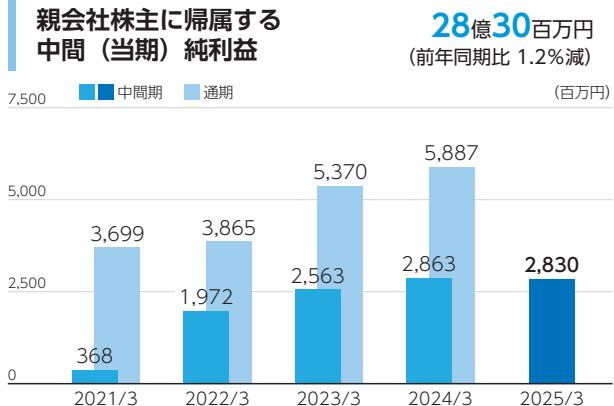
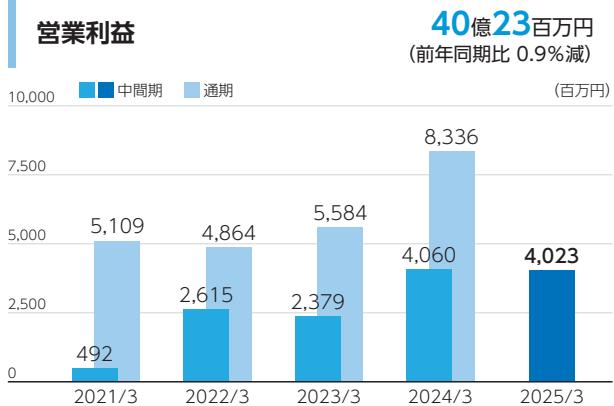
連結損益の増減

■売上高

当中間連結会計期間の業績につきましては、日本における自動車メーカーの「認証不正問題」に伴うライン停止の影響により、自動車用バックミラーの販売数量が減少したものの、北米地区の販売数量増加により、売上高は52,978百万円となり、前中間連結会計期間に比べて1,313百万円（2.5%）の増加となりました。

■営業利益

営業利益は北米地区における売上高が増加したものの、日本、タイ、



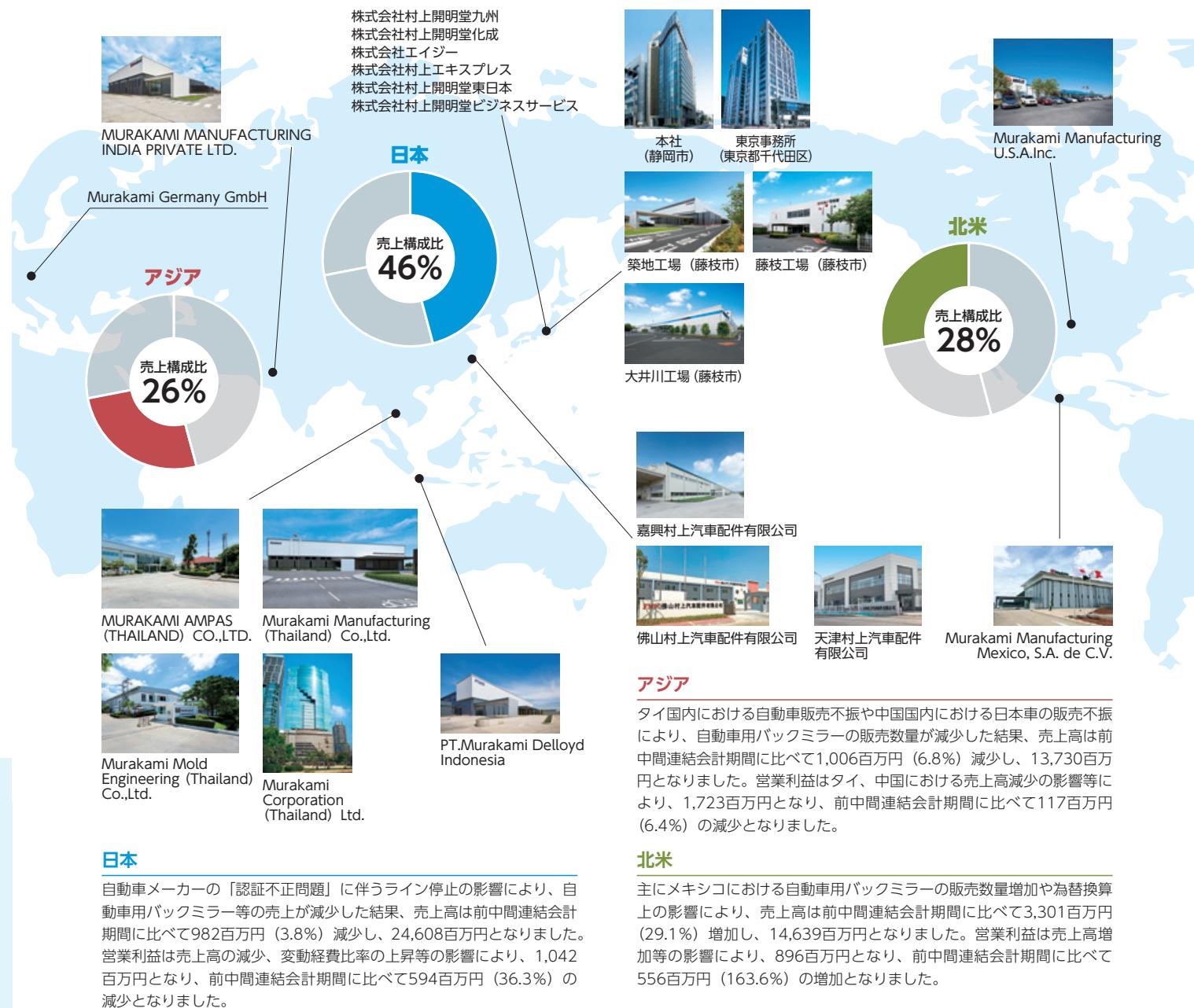
中国における売上高の減少影響を受け4,023百万円となり、前中間連結会計期間に比べて36百万円（0.9%）の減少となりました。

■経常利益

経常利益は4,663百万円となり、前中間連結会計期間に比べて62百万円（1.4%）の増加となりました。

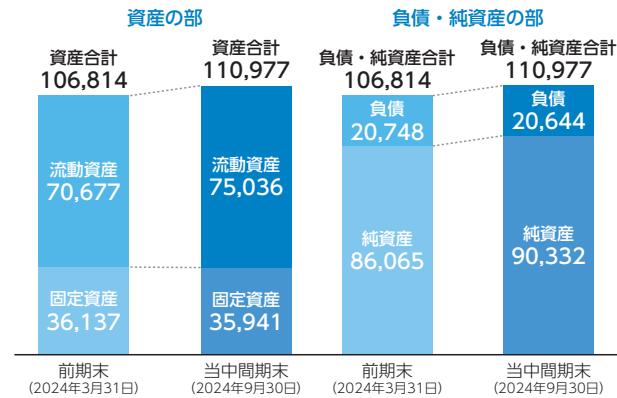
■親会社株主に帰属する中間純利益

親会社株主に帰属する中間純利益は2,830百万円となり、33百万円（1.2%）の減少となりました。



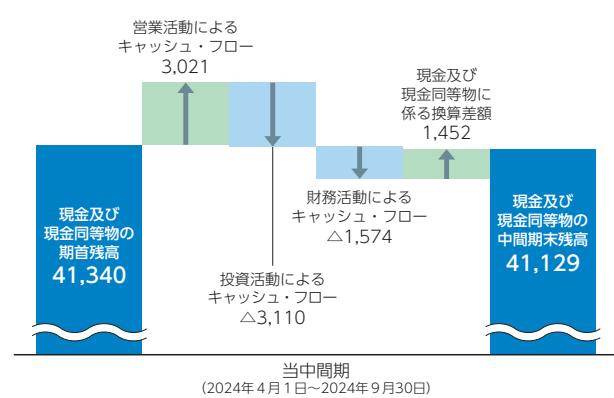
連結貸借対照表

(百万円)



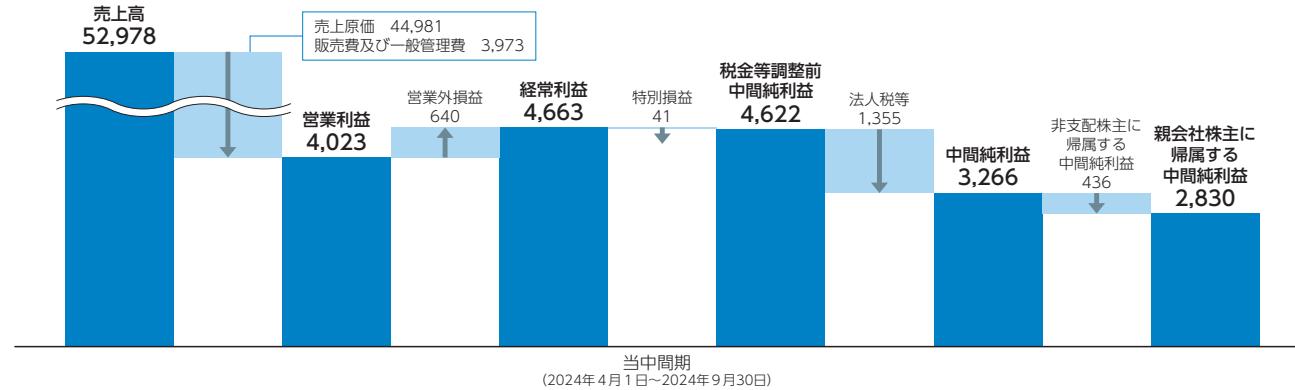
連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



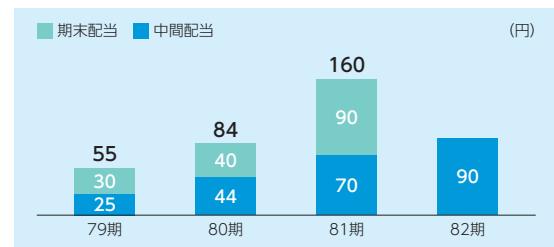
連結損益計算書

(百万円)



中間配当金について

中間配当につきましては、11月8日の取締役会におきまして、1株につき90円と決定いたしましたので、お受け取りくださいますようお願い申し上げます。



能登半島地震に対する支援活動

今年1月に発生した能登半島地震の被災地に対して、当社は継続的な支援活動を行っております。当社は石川県白山市と親善友好都市である藤枝市より要請を受け、輪島市から受け入れた中学生への物資支援を行った事を皮切りに、当社単独で穴水町の障がい者支援施設への物資支援、穴水町への飲料水支援、珠洲市への物資支援と活動を続けてまいりました。この先も被災地の情報収集を継続しニーズに合わせた支援を続けてまいります。



福祉コンサート開催

11月6日、社会貢献活動の一環として“誰もが楽しみ・気兼ねなく参加できる”福祉コンサートを開催いたしました。本コンサートは3年連続の開催となります。地域の福祉施設の方など約500名をご招待し、恒例のピアノ演奏に加えてスペシャルゲストに脳性まひのヴァイオリニスト式町水晶さんをお招きしたプログラムといたしました。エネルギー溢れる演奏は会場の皆さんに感動と勇気を与え、大盛況のうちに終了いたしました。今後も地域に根差した社会貢献活動をつづけてまいります。



村上英二記念 開明堂museum開館

当社は10月17日、4代目社長村上英二（1924～2018）生誕100年を記念して、静岡市の本社に『村上英二記念 開明堂museum』を開館しました。偶然の出会いによって自動車産業へ足を踏み入れ、それまでの鏡台用鏡や板ガラス販売から大きな事業転換をもたらした1950年代以降のあゆみをたどり、ヒストリー映像上映はじめ、草創期のバックミラーなどを展示しています。

入場無料 開館時間 9：00～17：30 休館日：土曜日・日曜日・その他会社休業日



会社概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 1948年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 事業内容 自動車用バックミラー、ファインガラスの製造及び販売
 従業員数 連結：3,829名 単体：968名

役員

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 長谷川 猛
 常務取締役 糟谷 篤
 常務取締役 服部 有
 取締役 平沢 方秀
 取締役 飯塚 利恵子
 取締役 松田 昌昭
 取締役 島村 裕宏
 ※取締役 力石 晃一
 ※取締役 足羽 由美子
 ※取締役 後藤 康雄

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 増井 邦夫
 ※監査役 櫻井 透
 ※監査役 興津 哲雄
 (注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 吉永 晃
 常務執行役員 星野 立法
 常務執行役員 青島 祥訓
 常務執行役員 前田 健太
 執行役員 池ヶ谷 義信
 執行役員 曲淵 浩朗
 執行役員 石垣 昌之

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 12,100,000株
 株主数…………… 2,550名

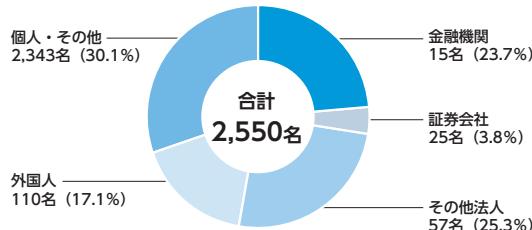
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	16.0
村上太郎	1,456	12.5
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	703	6.0
株式会社三菱UFJ銀行	582	5.0
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.9
株式会社静岡銀行	459	3.9
立花証券株式会社	402	3.4
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.4
明治安田生命保険相互会社	347	3.0
スルガ銀行株式会社	337	2.9

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式523,810株を控除して計算しております。
 3. 当社は自己株式523,810株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<https://www.murakami-kaimeido.co.jp/us/ir/koukoku>
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

